

時代にあわせる。

課題にあわせる。

人も企業も輝く出会いを
全力でサポートしています。



北海道の地域企業が直面する「採用」という大きな課題に対し、
私たちHAJは多角的なアプローチで解決の道を切り拓いてきました。

「人が採れない」という切実な声に応えるために、まず主婦層やミドル層など、
就業機会が限られていた方々の掘り起こしからスタート。

それでも続く採用難時代に対応するため、現在は外国人材の活用支援に力を注いでいます。

「特定技能」や「IT分野」の受け入れ体制を構築する一方、アジア各国に拠点も設立。

現地での人材発掘から入国後のサポートまで一貫した伴走体制を整えています。

私たちが目指すのは、「外国人だから」ではなく「必要な人材だから」という
理由で選ばれる、自然な雇用の姿です。

国籍に関わらず、誰もがその能力を発揮し、企業と共に成長できる——。

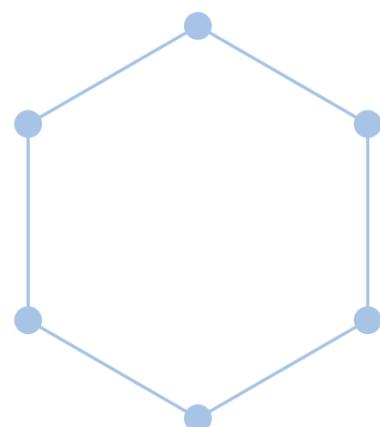
そんな未来に向けて、私たちはこれからも北海道の企業、
求職者と共に歩み続けていきます。



ジョブキタ紹介
山崎奈美

contents

- 3 密着レポート!
北海道発>>>ベトナム・ハノイ ITエンジニア採用面接会
- 12 これまでの参加企業に聞くアフターストーリー
北都システム株式会社
- 14 株式会社流研
- 16 札幌市での外国人エンジニア採用支援
- 18 外国人採用をお考えの方へ



密着レポート!

北海道発>>>ベトナム・ハノイ

ITエンジニア 採用面接会

2025年11.29開催

2024年6月に初めて開催し、
今回で3度目となったベトナム・ハノイでのITエンジニア採用面接会。

札幌に拠点を置く8社のIT企業が、

若く優秀なベトナム人材の獲得に向けて現地を訪ねました。

札幌のIT業界の未来にさまざまな可能性を感じた5日間の様子をレポートします。

ツアー日程 2025.11.27(木)～12.1(月)

27日(木) 出発日	28日(金) 視察日	29日(土) 面接日	30日(日) 面接日	1日(月) 最終日
13:40 千歳発 18:10 成田発 22:30 (現地時間) ハノイ着	午前 現地企業視察 午後 ハノイ市内観光	ハノイ市内 会場での 面接会 (対面)	ハノイ市内会場での 面接会 (オンライン) 23:55 (現地時間) ハノイ出発	6:25 成田着 11:35 千歳着

※東京(成田)からハノイまでの所要時間は約5時間30分。時差は2時間。

「日本で働きたい!」 ベトナム人材 約100名が参加

広い道路を埋め尽くす無数のオートバイ。街のあちこちで進められている大規模な建設工事。今、アジアで著しい成長を見せ、IT人材の宝庫として注目されているのがインドシナ半島東部に位置するベトナムです。



国民の平均年齢は約30歳。
国を挙げてIT産業を振興。

人口減少に苦しむ日本とは対照的に、直近10年は平均1%/年ほどの増加率で人口増加が続くベトナム。国民の平均年齢はなんと30歳前後。2023年には人口1



億人を突破し、国全体がエネルギッシュな空気に包まれています。

成長を続けるベトナムで、国家戦略として後押しされているのがIT産業です。政府は「国家デジタルトランスフォーメーションプログラム」を掲げ、2030年までにデジタル経済がGDPの30%を占めることを目標としています。IT企業への税制優遇や大学でのIT教育強化も国を挙げて推進し、現在、国内のIT人材は50万人以上と言われるほど。その多くが20~30代であり、エンジニア不足が叫ばれる日本のIT企業にとって、魅力的な人材市場となっています。

マンガやアニメ、日系企業の進出で 親日感を強める若者たち

ベトナムのIT人材には日本での就業を希望する人が少なくありません。円安で一時ほどの勢いは減った

■ベトナムと日本の人口ピラミッド比較(2025年)

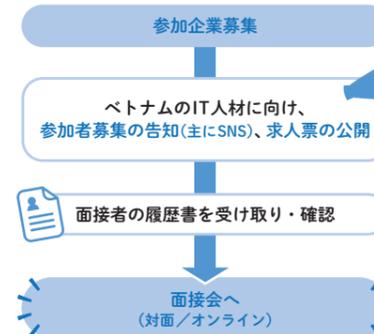


出典: PopulationPyramid.net(国連「World Population Prospects」データを基に作成)

ものの、諸外国と比較して社会保険制度や福利厚生などが充実し、生活面で治安が良いなどが大きな理由。現地には日本企業も多く進出し、ユニクロの服を着て、イオンで買い物をするなど、日本人と同様の生活スタイルも一般的となっています。マンガやアニメを通じて日本に興味を持った人も多くいます。

今回、首都ハノイで開催された合同面接会には札幌から8社のIT企業が参加。各企業はベトナムのIT人材に向けた求人票を事前に公開し、面接を希望した人は対面・オンラインを合わせて約100名に上りました。

(合同面接会参加までの流れ)



Pick Up!

HAJグループの現地法人が ベトナム人材との橋渡しに

道内企業の外国人材活用を支援するHAJグループでは、アジア各国に現地拠点の開設を進めています。これまで、ミャンマーには合併会社を、インドネシアには複数の業務提携先を持ち、そして2024年、ベトナム・ハノイ市内に現地法人「スズラン・グローバル」を設立しました。

スズラン・グローバルの役割は現地でのネットワークづくりや就業先としての「札幌」の魅力発信、日本での就業に興味がある人材の確保など。今回の面接会でも現地ネットワークを駆使してベトナムのIT人材に札幌企業の情報を発信し、出会いの創出に貢献しました。



スズラングローバルの代表を務めるベトナム人のジャン



ハノイ市内中心部のビルの2階にあるスズラングローバルのオフィス。現地のネットワークを活用して、ベトナム人材と日本企業の「橋渡し」を担う。

“ビザや暮らしに必要な手続きの心配が不要！ 紹介予定派遣によるHAJの採用スキーム”

ビザ申請から銀行口座の開設まで、
面倒はすべてHAJに「丸投げ」可能。

外国人材の札幌での活躍に期待が膨らむ一方、実際に採用する場合には、日本人とは異なる準備や手続きが必要になります。中でも重要なのが在留資格(就労ビザ)の取得です。

IT人材の場合、一般的には「技術・人文知識・国際業務(通称「技・人・国」)」という在留資格を取得します。これは大学卒業者や一定の実務経験を持つ人材を対象としたもので、資格取得には、受け入れる企業と本人がそれぞれ必要書類を揃え、出入国在留管理庁(入管)に申請します。

また外国人材の受け入れには、生活面のサポートも欠かせません。入国時の出迎えや住居の確保、銀行での口座開設や携帯電話の契約など、日本語のコミュニケーションに不安を感じる外国人材との手続きは双方不安。今回参加した8社にはすでに外国人材が働いて

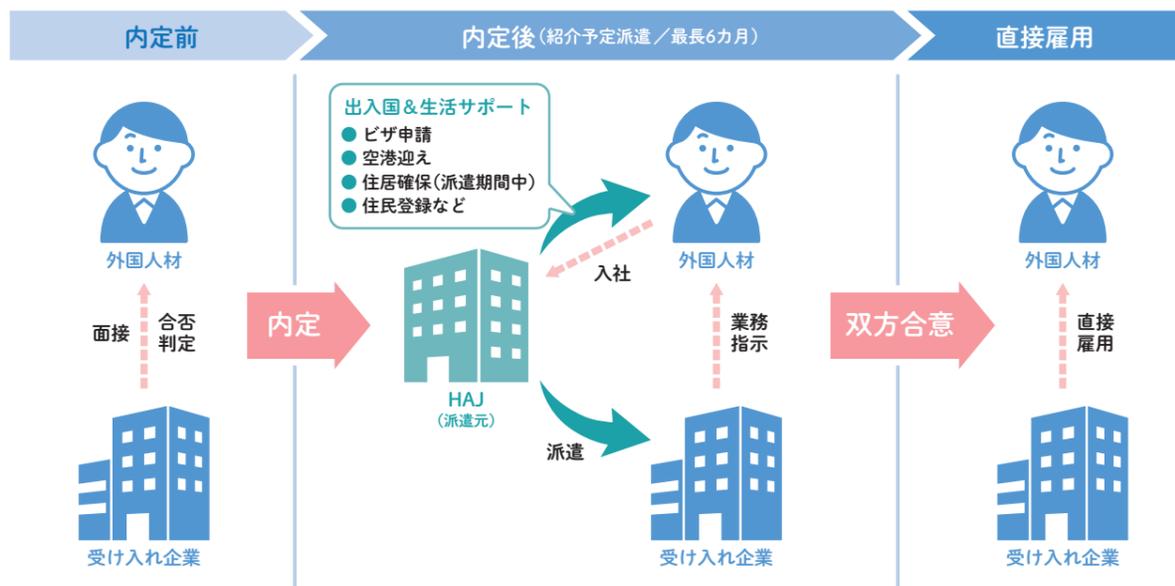
いる企業もありますが、特に最初の一人は何をすれば良いかわからず、新たな人材を採用するとなれば、同等の手間と時間がかかります。

そこで近年、HAJが提唱しているのが「紹介予定派遣による採用スキーム」です。これは、企業が内定を出した外国人材を直接雇用するのではなく、一度、HAJが自社社員として雇用し、「派遣社員」として内定企業に派遣するというもの。

これにより、本来、外国人採用に必要な準備や手続き、来日後のサポートなどの大半をHAJに委ねることができ、受け入れ企業は派遣された人材に業務上の指示に注力できます。HAJにはベトナム人を含む外国人スタッフが在籍しているため、必要に応じた通訳も可能です。

紹介予定派遣の派遣期間を終えた後は、双方合意の上、「直接雇用」に切り替えを行います。その時には就業先の変更を入管に届けるだけで手続きを終えることができます。

■ HAJの採用スキームの流れ



Pick Up!

進むベトナム人材への 日本語教育 面接会前日は現地の今を体感



“ITの現場で使える”ことを重視して、日本語の指導に取り組んでいます—。

そう説明するのはハノイ市内にある日本語学校「マンカイヤカデミー(Mankai Academy)」の代表ザンさん。ザンさんは日本での留学経験を持ち、卒業後はベトナム国内のIT企業へ就職。日本におけるベトナム人エンジニアのニーズに触れ、母国から日本へ、人材の橋渡しになるべく日本語学校を設立しました。

同校では、特にIT分野で即戦力として活躍できる日本語力の習得に力を入れています。「見積もり」「仕様書」「工数」など専門用語の理解はもちろん、日本ならではの「ほうれんそう(報・連・相)」や仕事に対する考え方、コミュニケーションノウハウについても指導しています。

「ビジネスの場で大切なのは、まず『結論』から話すこと。ただ日本語を話せるようになるだけでなく、どう伝えるかも含めて教えているのが当校の特徴です」



ベトナムでは日中は大学でITの技術を学び、夕方以降、日本語学校で語学習得に励むなどのダブルスクールも一般的。ザンさんも「日本を目指す多くの若者がここで学んでいる」と説明します。ザンさんからこうした話を聞いた参加企業は高い興味を持っている様子が伺えました。

マンカイヤカデミーを訪問した札幌の企業担当者は、その後、観光名所であるハノイの旧市街などを視察。街には多くの若者が溢れ、日本とは異なる熱気に包まれたベトナムの今を体感しました。



マンカイヤカデミーのザンさん。同校のカリキュラムは、ベトナム人エンジニアの活用を考える日本企業からも好評だそう。



街のあちこちで見かける日系企業ロゴマーク。近代的なビルと古い街並みが混在するハノイ市内。

“ 来場者の多くは20代のIT人材 日本で実務経験を 積みたい新卒学生も ”

面接会は11月29日、30日の2日間にわたって開催されました。1日目は対面、2日目はオンラインで実施され、多くの若手エンジニアが日本での就労のチャンスを探り集まりました。

参加した若者の多くは20代で、ベトナムを代表する国立大学や工科大学の出身者、卒業予定の学生が多数。中には豊富な実務経験を持つ人もおり、「北海道(札幌)に行きたい」と強く希望する声も聞かれました。



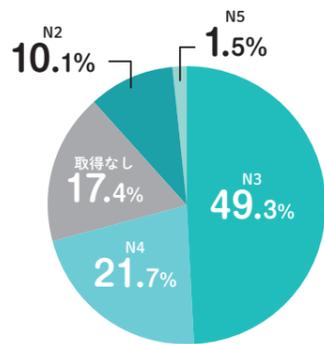
面接会の参加者データ

平均年齢

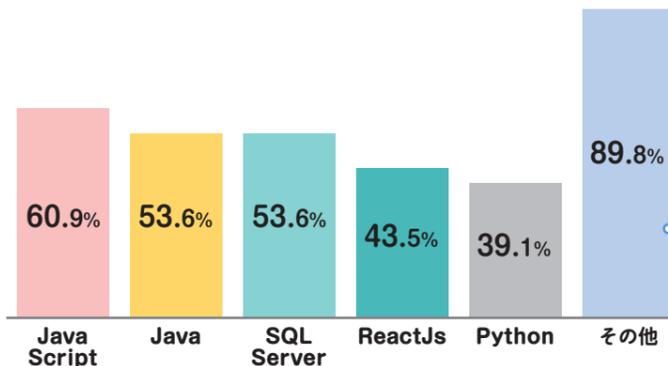


実務経験者 **61%**
(新卒 39%)

日本語能力試験レベル



主な保有スキル



その他の言語

- PHP 27.5%
- C# 24.6%
- Spring Boot 18.8%
- Next JS 14.5%
- Flutter 4.4%

voice!

参加者の声

日本でもっとスキルを磨き 世の中に貢献するのが目標。

私は「ドラえもん」「鬼滅の刃」などのアニメを見て、日本で働くことに興味を持ちました。札幌のことはまだよく知りませんが、ぜひ本物の雪を見たいと思っています。大学時代のインターンではフロントエンド開発に携わり、自分の手掛けたシステムやアプリが人々の暮らしに貢献することにやりがいを感じました。



ランさん
22歳 (新卒)
FTP大学卒
日本語レベル:N4

日系企業で働いた経験を 北海道企業の皆さんにアピール。

学生時代から日本にあこがれを抱き、これまで日本企業のベトナム法人や日本のオフショア企業、ベトナムにある韓国のIT企業などで働いた経験があります。Pythonを中心に、AIモデル開発や画像処理、バックエンド開発、クラウド環境構築などに携わってきました。面接で話した企業の皆さんはとても優しく、ぜひ北海道で働きたいという思いが強くなりました。



ホアンさん
29歳 (経験者)
ハノイ経済技術大学卒
キンバック大学卒
日本語レベル:取得なし

タオさん
26歳 (経験者)
ハノイ外国語大学卒
FUNIXオンライン大学卒
日本語レベル:N2

大学で学んだ日本語と ITの技術を生かして働きたい。

大学では日本語とITを学ぶ「日越情報工学部」に在籍し、日本語の他に日本企業の開発プロセスや時間を守る国民性、ほうれんそうの文化にも触れました。卒業後はベトナムのIT企業2社で、計1年半ほど実務経験を積み、IT先進国の日本で更にスキルアップするチャンスを得るためにこの面接会に参加しました。



ハイさん
23歳 (経験者)
フェニカ大学卒
日本語レベル:N3

あこがれていた北海道の企業に 出会うなかなかないチャンス！

北海道に興味を持つようになったのは、好きなアニメの舞台として「札幌」が描かれていたことがきっかけです。自然がたくさんあり、東京ほどの混雑がないのはまさに自分の好み。先進的なIT企業も多いと知ってぜひ働いてみたいと思いました。自国で数年間働いてから訪日することも考えましたが、北海道の企業がベトナムまで来てくれるのは貴重な機会と思い、面接会に参加しました。



タンさん
21歳 (新卒)
ハノイ工科大学卒
日本語レベル:N4

子どもの頃から日本が大好き！ 北海道にも興味津々。

叔母が日本人向けのベトナム語講師をしているので、幼い頃から日本にとっても興味がありました。姉は日本在住で、いとは北海道に留学していました。IT業界での勤務経験は3年ほど。今は日系オフショア企業のブリッジSEをしていて、プロジェクトマネジメントの経験もあります。この機会を生かして日本でスキルアップできればと思っています。



タオさん
26歳 (経験者)
ハノイ外国語大学卒
FUNIXオンライン大学卒
日本語レベル:N2

“目指すはビジネスの成長！” 外国人材採用に初挑戦する企業も”

現在、北海道には1000社以上のIT企業があると言われています。また、ひとくちに「IT」と言っても業務内容は幅広く、今回の面接会にも、最先端のAIを活用する企業や組み込み系の開発を手掛ける企業、フロントエンド系、バックエンド系など多岐にわたる企業が参加しました。

外国人材の活用状況も一様ではなく、「(外国人材は)もはや欠かせない戦力」という企業もあれば、「この面接会を機に初めてチャレンジする」という企業も。ベトナムのIT人材に直に触れた皆さんに感想を聞いてみました。



面接会には日系企業でブリッジSEなどを務める現地スタッフが通訳として同席。参加者とのコミュニケーションをサポートしました。

参加企業一覧

- 株式会社流研
- 株式会社フレンセル
- 株式会社メディア・マジック
- 北海道電子機器株式会社
- 株式会社インブル
- 株式会社GSI
- 株式会社テクノフェイス
- 株式会社テクノラボ

voice! 雇用担当者

初めて挑む 外国人材の採用

当社は海外にオフショアパートナーを持つものの、まだ外国人材を採用したことがなく、今後に向けて何かヒントを得られればとこの面接会に参加しました。会場でベトナム人エンジニアの皆さんから感じたのは成長への強い意欲。「札幌でスキルアップしたい」ということを多くの方が口にし、モチベーションの高さが伝わってきました。

採用すれば戦力として活躍してくれると思いますが、課題があるのはむしろ受け入れ側。誰がどう業務を教えるか、協働の雰囲気をどう醸成するかなど、当社が取り組むべきことは少なくありません。

とはいえ今後、国内でのエンジニア採用が難しくなるのは不可避。この面接会で外国人採用をより具体的にイメージできるようになったのは大きな収穫だと感じています。



株式会社フレンセル
菊池昭宏さん

voice! 雇用担当者

優れた専門性を どう生かすかが重要

ベトナムはオフショア拠点として技術力がある国。エンジニア人材にも以前から関心を寄せていました。今回、多くの方と面接して感じたのは、特に若い層でJOB型、つまり「専門特化型」であるということ。日本でも近年その傾向を感じますが、広く浅くではなく限定された領域でスキルを伸ばしている人が多いようです。

新卒人材に限定すれば、技術力では日本よりベトナムのほうが上かもしれません。日本人であれば一定期間の研修を経てから実務に入るのが一般的ですが、ベトナム人材なら、言葉やコミュニケーションの課題はあるものの、技術的には即戦力にもなり得るはず。重要なのは国籍ではなく、その人の強みをどう生かすか。その点を強く感じた面接会でした。



北海道電子機器株式会社
穴田秀樹さん

voice! 雇用担当者

地頭が良く、 磨けば光る原石のよう

「ベトナムで優秀な人材を獲得できた」そんな話を業界の知人から聞き、当社も良い出会いがあればと参加を決めました。面接で印象的だったのは、応募者の方々が日本に行きたいという強い思いを持っていたこと。ハノイ国家大学やハノイ工科大学など、優秀な大学で学んだ、いわゆる「地頭」が良い人たちも少なくなく、経験は浅くとも磨けば光る原石のような印象を受けました。

分野で言えばWebやモバイルなどフロントエンドのエンジニアは特に層が厚いようです。日本語でのコミュニケーションが可能なN3～N2レベルの応募者もいて、「意思疎通さえできれば技術は後から教えられる」と考える企業なら、魅力的な人材市場と言えると思います。



株式会社テクノラボ
秋山芳廣さん

voice! 雇用担当者

外国人材を検討する 環境が整いつつある

ベトナムは国を挙げてIT産業の振興に取り組んでいるため、国立大学を中心に高度な知識を持った学生が少なくないと感じました。

技術より日本語力を重視する企業もあるかと思いますが、視察で訪れた「マンカイヤカデミー」のようにITに特化した日本語教育を行い、即戦力を送り出そうとしている組織もあります。技術があつてコミュニケーションも可能。そんな人材が今後間違いなく増えてくることでしょう。

そもそも外国人材の受け入れにハードルを感じるという企業には、HAJが提案する紹介予定派遣のようなスキームは検討に値すると思います。札幌市による支援策も充実してきており、一歩を踏み出す環境は確実に整いつつあります。



株式会社テクノフェイス
石田崇さん

これまでの
参加企業に聞く
アフターストーリー

After Story 01

interview



2025年春(第2回)参加
北都システム株式会社

“グローバル化をめざして
頼れる「お兄さん役」を採用!”

左から取締役の熊谷貴広さん、タインさん、採用担当の八巻宏志さん。

自動車の組み込み系や医療基幹など、手堅いシステム開発を数多く手掛ける北都システム株式会社は、2025年春に行われたベトナム合同面接会で2名を採用しました。参加までの経緯や現在の活躍について、取締役の熊谷さん、採用担当の八巻さん、採用されたタインさんの3人にお話を伺います。

ハングリー精神に魅了され ベトナムへ

北都システムが外国人材を初めて受け入れたのは約20年前まで遡ります。固定観念にとらわれない会社を目指し幅広い人材を採用してきたそうですが、定着に至らないケースもあったといいます。「米国、韓国、バングラデシュとさまざまな国の方を採用してきましたが、日本語でやりとりする機会は少なく、英語ができる社員だけが関わる形になってしまっていて…」と取締役の熊谷さん。もしも次に採用の機会があれば、日本語でのコミュニケーションができる人材と二人一組で受

け入れたいと考えていたそうです。

そんな折にHAJから持ちかけられたのが、2025年春のベトナム・ハノイでの合同面接会でした。熊谷さんは即座に参加を決意したといいます。

「以前、札幌にいるベトナム人留学生との交流会に参加したことがあって、その時の彼らの仕事に対する熱量やハングリー精神にすごく刺激を受けていたんです。機会があればぜひ採用していこうと決めていました」

驚きの連続だった ベトナム合同面接会

面接会は事前に履歴書を提出した応募者と企業とが、会場またはオンラインで面接を行う形式。約30人もの応募者が集まったことも予想外だったそうですが、八巻さんを更に驚かせたというのが、日本語能力の高さでした。

「来場したほぼ全員が日本語で自己紹介できること



日本語が堪能なタインさんは北海道を「自然と都市が調和した、ヨーロッパのような雰囲気」と表現。来道から3カ月で小樽や積丹、旭川など各地を訪れグルメも満喫しているそうです。

にまず衝撃を受けました。日本語が得意でない人も、身振り手振りを交えながら必死に思いを伝えようとしていて、『日本で働きたい』という温度が伝わってきたんです」

そんな中、日本国内からオンラインでの面接を希望してきたのが今回採用した1人、タインさんです。母国のIT系専門学校を卒業後、2016年来日。愛知県名古屋市でエンジニアを目指して就職活動を続けるも希望通りの就職が叶わず、独学でITの勉強を続けながら木材加工場で働いていたといいます。

「ですが高い日本語能力はもちろん、画面越しでも明るい表情や、ユーモアを交えた会話にはすぐに好印象を抱きました。更に工場では外国人スタッフをまとめるリーダー役を任されていたと聞き、将来ベトナム人材が増えた時に心強いと感じたんです」

その後対面での面接の機会も得て、約半年後の2025年8月、タインさんは北海道へとやってきました。

受け入れを機に 境を越える会社へ

タインさんは現在、医療系の開発チームでプログラマーとして、設計から実装、テストまで幅広く取り組んでいます。即戦力としての活躍もさることながら、熊谷さんが更に期待を寄せるのが「お兄さん」としての役割です。

「数か月後には同じ面接会で採用したクワンさんの入社も控えています。彼は日本語はまだまだ勉強中ですので、まずタイン君を介して交流を図ればと考えているところ。長期的には更にベトナム人材を迎えて

いく構想もありますし、ベトナムに拠点をつくるという未来も描ける…。考えるだけでとにかくワクワクしています」

タインさんご自身も期待に応えるように「日本語と技術面の両方をもっともっと勉強して、日本とベトナムの橋渡し役になりたい」と語ります。

これからの外国人材の受け入れを考える企業に向けて、八巻さんはこうアドバイスします。

「やはり最初の一人か二人は日本語が得意で、コミュニケーターになれる人がおすすめです。タイン君のように陽気なキャラクターなら、『みんなで話せる雰囲気』もおのずと醸成されていくと思います」

熊谷さんも「支え合えるメンバーがいないと、日本人でもつらいですからね」とうなずきます。

「外国人材は単なる人員補充ではなく、会社全体の可能性を切り拓く存在。タイン君の屈託のない笑顔には、国境を越える力がある。そんなふうに希望を感じているんです」



「現地のIT企業や専門学校も視察して、多くの刺激を受けました」と熊谷さん。今後は現地企業との交流も前向きに検討しているそうです。

北都システム株式会社

1994年(平成6年)創業。自動車関連や医療系ソリューションやSIサービスなど、ソフトウェア開発を軸に事業を展開。従業員数は約200名、横浜や大阪にもオフィスを構えている。



北都システム株式会社
札幌市厚別区厚別中央2条3丁目5番11号
<https://www.hscnet.co.jp/>

これまでの
参加企業に聞く
アフターストーリー

After Story 02

2024年春(第1回)参加
株式会社流研



“「一歩ずつ」のサポートで
実力を発揮できるよう後押し。”

左からアンさん、指導役の谷亮汰さん。

札幌の老舗IT企業のひとつ株式会社流研では、2022年に初めて外国人エンジニアを採用。以来、グローバルな人材活用に取り組み、巻頭でレポートした2025年11月のベトナム面接会にも参加しました。今回お話を聞いたのは、その前年の面接会で採用が決まったベトナム人エンジニアのアンさんと、指導役を担う谷亮汰さんです。

日本留学中は暑さに苦悩。 涼しい札幌に魅力を感じて

学生時代に名古屋で留学経験があり、日本語とITスキルを学んでいたアンさん。卒業後はベトナムに帰国し、日本向けのオフショア企業に勤務しました。

「留学時代に日本人の礼儀正しさや、ルールやマナーをきちんと守るところに好感を持ちました。相手を尊重する国民性は自分の性格にも合っていて、日本は暮らしやすい国という印象でした」

母国で働きながらも日本への思いを募らせていたアンさん。そんな時、ハノイ市内で札幌のIT企業の面接

会が開かれるという話を耳にします。

「これはチャンスだと思いました。僕自身、札幌に行ったことはありませんでしたが、留学時代にルームメイトが北海道旅行に行ったんです。その時、海産物がいしくて、自然が豊かで、「サッポロビール」が人気なことなどを教えてくれて、ずっと興味を持っていました。また札幌は夏でも涼しいことが大きな魅力。僕はベトナム出身ですが暑いのは苦手、名古屋の暑さにもかなり苦労していたんです(苦笑)」

面接後も食事を共にし 現地で内定が決定

面接会に参加したアンさんが特に印象的だったのは、流研の“社員を大切にす文化”。

「面接では社長も、他の社員の方も、とても話しやすい雰囲気でした。日本語がまだ上手じゃない僕の話もじっくり聞いてくれて。待遇面でも家族手当や住宅手当、社員のための制度(福利厚生)が充実していて、こ

こなら安心して働けそうだと感じました」

一方、流研の皆さんもアンさんに好感を持ち、面接会当日の夜に食事に招待。初対面とは思えないほど意気投合し、現地で内定決定となりました。

進んでは戻り、 質問を重ねて理解を確認

アンさんを迎えた流研で指導役となったのが入社2年目の谷さんです。

「指導役と言っても僕自身まだ2年目ですし、IT業界のキャリアで言えば母国で実務経験があるアン君のほうが上。教える立場というより、一緒に切磋琢磨する“仲間”という感覚のほうが強いですね」

そう話す谷さんですが、アンさんがプロジェクトに参加する際には業務の進め方や専門用語を丁寧に説明し、しっかりとサポート役を務めました。

「石橋を叩くように進めていった感じです。当時、僕らが担当していたのは自治体向けのシステムだったので、行政用語が多く、日本人でも理解が難しいものでした。そのため、一歩進んでは立ち止まり、『ここまで分かった?』とアン君に確認。理解が怪しいようなら少し戻ってもう一度説明する…というのを繰り返し、一歩、また一歩と進んでいきました」

相手が「分かった」と言っても鵜呑みにはせず、逆に質問を投げかけて理解度を図るなどコミュニケーションの工夫をしたという谷さん。その甲斐もあってアンさんはプロジェクトのメンバーとして徐々に実力を発揮していきました。



週末には札幌市内の公園で散歩や写真撮影を楽しんでいるというアンさん。スキーやスノーボードにもチャレンジしたいそう。



プログラミングの言語は世界共通。言葉が完全でなくても、エンジニアとしての意思疎通は十分に可能だと谷さん。

意欲のある“仲間”がいれば モチベーションも高く

「技術的にはむしろ自分より優れているところもあって、尊敬しています。アン君の書くコードは分かりやすいですし、コードを見れば意図も分かる。実は、言葉で説明するよりもスムーズだったりするんです」

職場の飲み会などでも交流を重ねており、外国人と働くことへの心理的ハードルは大きく下がったという谷さん。

「海外から来る人の指導役と言われた時は驚きましたが、アン君自身がとても気さくでコミュニケーションも取りやすかったので、特別大変だったという印象はありません。むしろ、海外から日本に来て働こうとする人は意欲が高く、そういう人たちが職場にいると全体のモチベーションも上がりプラスの影響が大きいと思っています」

株式会社流研

1977年(昭和52年)創業。官公庁向けから民間企業向けまで、システムやソフトウェアの企画・開発、コンサルティングなどを幅広く手掛け、長く札幌のIT業界をリード。従業員数は約70名。



株式会社流研
札幌市中央区北4条東4丁目1番1号 創成クロス 2F
<https://www.ryuken.co.jp/>

札幌市での 外国人エンジニア採用に 今、追い風が吹いています。



DXやIT化のニーズが高まる一方、
求められるスキルや採用のハードルの高さから全国的に人材不足が続くIT企業。
その解決のために、札幌市では外国人材の活用を後押しする制度を整備しています。

1人採用につき最大25万円をサポート！

札幌市IT人材確保プログラム認定制度

札幌市内IT業界での安定的な人材確保を目的に実施する官民連携の取り組みで、HAJもパートナーとして認定を受けています。このプログラムを活用してHAJから外国人材を採用した場合、1人につき最大25万円(1社2名までの補助金を受け取ることが可能です。

【補助制度概要】^{※1}

^{※1} 詳細な支給要件、申請方法等は交付要綱にてご確認ください。

補助対象者	札幌市認定プログラムを活用してIT人材を採用した市内IT事業者 (札幌市内に拠点を有し、IT産業を事業としている中小企業者)
対象経費	IT人材の採用にかかる経費のうち以下の内容。 ●プログラム参加費 ●人材紹介手数料 ●教育費 ●外国人エンジニア採用支援費
補助上限額	1人につき上限25万円、2名まで
対象の職種 ^{※2}	●プログラマー ●システムエンジニア ●プロジェクトリーダー ●プロジェクトマネージャー ●ITインフラエンジニア ●システムコンサルタント ほか ^{※2} Webデザイナー・Webディレクター等のWebクリエイティブ職は対象としておりません。



詳細は札幌市公式HPの「札幌市認定プログラム活用促進補助金」でご確認ください。
https://www.city.sapporo.jp/keizai/top/topics/it/accreditation_subsidy.html



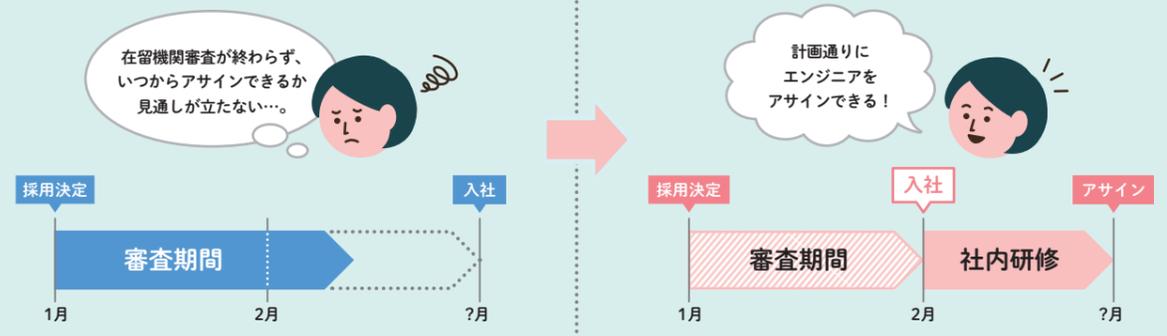
外国人エンジニアの速やかな入国を実現！

Sapporo Engineer Visa

中小企業やスタートアップ企業が外国人エンジニアを採用する場合、在留資格の審査期間が長期化し、入国時期が見通せなくなる傾向があります。研修やプロジェクトのアサインへの計画に支障が生じるケースが少なくありません。そこで、札幌市では外国人エンジニア就労促進事業「Sapporo Engineer Visa」を実施。これはIT・半導体関連分野の外国人エンジニアが在留資格「技術・人文知識・国際業務」で入国する際の在留資格審査期間を短縮・明確化する、国家戦略特区による規制改革を活用した制度です。これを利用することで、通常1~3カ月間、長い時では半年かかる在留資格審査を1カ月程度に短縮することができます。

BEFORE 審査期間が1~3カ月以上かかる

AFTER 審査期間が約1カ月に短縮！



申請企業の主な要件

- 札幌市内に事業所を有するIT・半導体関連企業であること
- 非上場企業であること
- 経営状態が安定していると札幌市が認める企業であること

外国人エンジニアの主な要件

- ITエンジニア
- 半導体関連エンジニア
- 通訳者



詳細な手続き・要件等は、札幌市ホームページからご確認ください
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/top/topics/it/engineervisa.html>



HAJでも産・官・学と共に採用をバックアップしています。

HAJは産・官・学が連携する「一般社団法人さっぽろイノベーションラボ」に加盟。会員企業・団体・個人と協力し、ベトナムをはじめとするアジア各国とのネットワーク構築や、人材採用の可能性を広げました。また、自社ビルである「ジョブキタビル」内には、オープンビジネススペース「space360」を開設。さっぽろイノベーションラボや札幌AIラボ、札幌市立大学AI

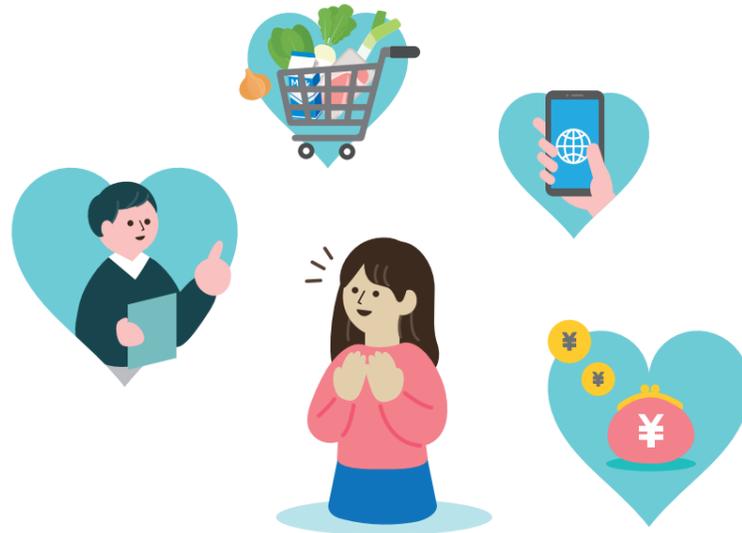
ラボなど、複数のコンソーシアムや関係企業に活動拠点を提供しています。

更にIT企業向けには、経験者から新卒まで幅広い人材を対象としたマッチング特別プランを用意。多角的な取り組みで、企業の採用を支援しています。



外国人採用をお考えの方へ

北海道アルバイト情報社では、
入国前から採用後まで幅広くサポート。
その内容の一部をご紹介します。



TYPE
1

以下の業種・職種でお探しの場合
ITエンジニア、宿泊・観光、通訳、
営業職・総合職*など
(在留資格 技・人・国)

TYPE
2

以下の業種・職種でお探しの場合
介護、外食、土木・建設、農業・酪農、
ビルクリーニング、食品製造 など
(在留資格 特定技能)

HAJのサポート

主に「紹介予定派遣」を利用し、
企業側のご負担が少ない方法をご提案します。

- 採用後6か月間は、北海道アルバイト情報社からの派遣社員として契約
- 派遣期間は弊社所有のアパートを提供
- 6か月以降は、双方合意の上で正社員として登用
- 面接時の通訳や受入体制のご相談も対応します

- ミャンマー・ベトナム・インドネシア・中国を母国語にするスタッフがしっかり伴走します。
- 国外からのマッチングに加えて、国内での転職やアルバイトからの切り替えにも対応可能。

介護職のみ

- 内定後から入国までに、自社開発の介護学習eラーニングツールを提供
- 介護福祉士の取得に向け、研修などをバックアップ



共通のサポート (紹介予定派遣・特定技能の場合)

- 入国時の空港へのお迎え
- オリエンテーション
- 住民登録(役所)
- 銀行口座開設
- 携帯電話開通手続き
- 入社時の公的手続き補助
- 住宅設備の説明
- 生活用品、食品の買い出し(初回)
- 初出勤の同行
- その他生活相談・レクリエーションなどの提案

*営業職・総合職の場合は、仕事内容の確認が必要です。

▶ セミナー・相談会

外国人雇用に関する企業向けのセミナーを各種開催しています。
ビザや雇用に関する相談も、顧問行政書士と連携の上で受け付けています。

開催例

- 千歳市令和7年度 地元就職・人材確保支援業務 外国人労働者採用支援セミナー
- 「札幌市介護人材確保・定着事業委託業務」 企業向けの採用力向上セミナー
- 札幌留学生交流センター 日本での就労ビザの種類とビザ変更手続きについて
- HAJ主催 「日本における外国人介護人材の基礎知識と現状」
- HAJ主催 外国人受入のため日本人が話す「やさしい日本語講座」



▶ 交流イベントの開催

北海道に来てくれた外国人が少しでも充実した日々を送れるように、仲間が作れるように…。
北海道の魅力をたっぷり伝えるイベントを「体験」をキーワードに不定期で開催しています。



開催例

- 留学生歓迎会 in ジョブキタイイベントスペース
- 留学生と本音で話そう懇親会
- 大ハロウィンパーティ in イベントスペースEdit
- イチゴ狩り・チューリップ観賞・スキー・食事会など



▶ その他の取り組み

- JICA(国際協力機構)「ICT推進によるDX実践」研修プログラム
[各2週間程度の受入]
・バングラデシュ(2022年)
・パキスタン(2023年)
・マレーシア(2024年)
・多国籍12カ国(2025年)
- 北海道で働く外国人インタビュー集の発行
[2023年より年1回]



◎発行日
2026年3月

◎編集発行
HAJ(株)北海道アルバイト情報社 ジョブキタ人材サービス事業部
北海道札幌市中央区南1条西6丁目20-1
<https://official.haj.co.jp/>

◎取材・発行
有限会社シーズ
<https://cs-sapporo.com/>



外国人雇用に関するお問い合わせ ▾

株式会社北海道アルバイト情報社
ジョブキタ人材サービス事業部
北海道札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル2F

TEL: **011-251-3433** ※9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

MAIL: **t-miura@haj.co.jp** (担当:三浦)